NIE実践報告

1．タイトル：**憲法を知ろう　NHKスペシャル「日本国憲法の誕生」の視聴と新聞記事を活用して**

2．学校名

広島県立広高等学校定時制

3．実践者名（代表者名）

篠崎正大（地歴・公民科）・他7名の教職員

4．学年

第1・2・3・4学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

地歴・公民科・特別教育活動　　59人

6．単元（本時の学習課題）名

「憲法を知ろう」

7．目標(狙い)

事前学習として、地歴・公民で実施した憲法学習の概要に基づいて「憲法記念日」をきっかけとして、憲法についての学習を深め，将来のためにどうあるべきかを考えさせる。

8．評価の視点

平和について、自分の生活の中で感じたことを生徒個々人が自分の考え方・視点を持って、考え、表現をすることができる。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

1学年：「現代社会」現代の民主政治と私たちの生活「憲法9条と自衛隊」（1/15時間）
2学年：「世界史A」米ソ冷戦とアジア・アフリカ「戦後の東アジア」（1/7時間）
3学年：「日本史A」現代世界の問題と日本の戦後改革「日本国憲法の成立」（1/9時間）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

ビデオ「日本国憲法の誕生」（25分）と新聞の切り抜き「憲法改正論議をめぐる各党の主張」中国新聞（2007年4月30日付け）を使って、各学年での単元目標を確認し、共通の目標として、憲法の3大原則の１つである平和主義は、戦争の惨禍に対する反省の中から生まれた人類普遍の財産である事を理解させる。
展開（15分）での留意点では、単元「憲法第9条と自衛隊」の第9条を見て、政策解釈や展開が国際社会の状況に関係していることを理解させる。また、各政党の主張紹介では、偏らないように留意する。自衛隊の存在にも配慮し、「自衛」についても留意する。まとめ（5分）では、「非核3原則」ついて必ず触れる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

1年：憲法はあらゆるものの根っこなのだね。
2年：憲法にどう書かれていても、今の力のあるものに都合よく解釈されるのだと思った。
3年：父が自衛隊員で、海外に機雷撤去に行ったりして今もがんばっている。憲法と自衛隊との関係をはっきりさせてほしい。

12．成果と課題

（成果）
ビデオと新聞の切り抜きの活用により、日常と切り離された話題を身近なものとすることができた。
（課題）
教職員研修は、全体的な取り組みとして位置づけたが、時間的制約もあり充実したものにならなかった。今後、憲法学習や平和学習の位置づけなどと合わせて、研修のあり方を検討する必要がある。